



第 29 号  
2010年3月1日

編集・発行：ゆうばり再生市民会議 広報部

「夕張の医療と介護を考える」学習会 第2段

『施設サービスと在宅サービスとは』が開催されました！

『今自分たちができることは何か？』

そのような想いで、ゆうばり再生市民会議が毎月1回のペースで始めた『医療と介護』に関する学習会ですが、第2段は『施設サービスと在宅サービス』のタイトルで2月20日（土）午後1時30分から開催し、25名程の参加者がありました。

65歳以上の高齢者人口が43%を超える夕張市、介護の問題は今後市民みんなが無関心ではいられない問題になっており、会場には、96歳の親が施設に入っているため自分も詳しい話が聞きたいという方もいらっしやいました。

講師のトップバッターは特別養護老人ホーム清光園の鳴海施設長。まず日本の老人福祉の歴史について、他の国とは比べ物にならないスピードで高齢化が進み、それに対応する制度や人々の意識が追いつききれない日本の現状について説明がありました。

特別養護老人ホーム清光園は、

要介護度3以上の入所者に対して、身体介護（入浴・排泄・食事）や機能訓練、健康管理などの世話や最期の看取りまでを行っています。平成19年に施設を全面改築し、入所者側に立った「暮らし」を支援することを理念としてケア事業を行っているとのことでした。

ちなみに清光園が考える「暮らし」とは、『美味しく食べて、すっきり出して、ぐっすり眠ること』だそう、人としてある意味一番大切なことではないか、と妙に感心してしまいました。

続いて、在宅ケアに関するお話

が、虹ヶ丘居宅介護支援事業所に勤務する吉本ケアマネージャーからありました。

『施設』に入るといって抵抗感から家での介護を求める人や、国の方針（施設介護はお金がかかる）から、介護は今後在宅ケアが中心となっていくとのこと。

介護サービスを受けるためには、まず

介護認定の申請を行い、調査と審査を受けた後に認定を受ける必要があります。

※「要介護」の段階は1〜5であり、その基準は介護にかかる手間（時間）によって判断されるのだそう。

講演では、要介護の判定を受けた人が利用できる『在宅サービス』についての説明がありました。普段耳にすることがあるデイサービス（通所介護）やショートステイ（短期入所生活介護）がどういうものなのか、説明を受けて始めて判りました！

また、ケアマネージャー（介護支援専門員）は1人当たり35件しか受け持ちできないいきまりだそうです。夕張では今後高齢者の人も増えてくるので、将来ケアマネの数が足りなくなるのでは？という心配もあるとのことでした。

★講演の締め★

【今後の目指すもの】

今後、老々介護という現実も見据え地域で介護を支える仕組みが必要になって

く。

・ほんの些細なサービスでも提供できるようなNPOの育成と支援  
・その人らしい暮らしを維持し、少しでも長く自立を続けられるよう、介護度の進行による施設の住み替え

などが必要とのことでした。  
なるほどっ!!

★会場からの主な質問★

質問① 市内で24時間の在宅介護サービスは使えますか？

回答① 残念ながら、市内で24時間対応の業者はありません。

質問② 清光園では、定員が105名とのことでしたが、入所待ちの人はどれ位いるのですか？

回答② 通常、複数の施設に申込みをしているので、正確な数はつかみにくいのですが、実態として20名程度だろう。

学習会にできればるほど知りたいことが増えてきます。次回の学習会も皆さん、ぜひ参加を！

○学習会を終えて講師の方から感想を一言

・（介護サービスを受ける側以外の）一般市民の考えを聞いてよかった。（吉本）

・行政に頼らないで自分や地域を守っていくため、市民の意識の改革が必要になってきますよ。（鳴海）

鳴海さん、吉本さん、大変お忙しいところありがとうございました。

第3回の学習会は、4月中旬の土曜日を予定しています。（3月はお休みします）  
詳しい日程、テーマ・講師については改めてお伝えします！

**第25回運営委員会（2月12日開催）の報告ですっ！**

①前回の学習会についての感想及び今後に向けた課題について

- ・もっと早く開催して知るべきだった。 ・学習会で知ったことを伝えることが必要だと思った。
- ・講師を追い込むような質疑ではなく、建設的な学習会にしたい。 ・市民が望む「医療」って何なのだろう？
- ・医師がいるから医療が成り立つこと、医師が短期間で入れ替わる理由が分かった。
- ・もっと深く考えるためには、まだまだ自分たちが知識不足であると認識した。
- ・今回の学習会を次の学習会に繋げたい。

②次回学習会について

- ・市民の目を引くタイトル作りも大切ではないか。 ・前回の学習会を踏まえて質問等を各自検討したい。
- ・次回の運営委員会で、学習した内容を協議し、今後の課題を見出すことにしよう。

③第3回目の学習会について

- ・当初3月開催を計画したが、他日程との調整が取れない可能性があるため、4月に開催する。
- ・「地域医療を支える市民の取り組み」について、取り組みを行っている団体等に講師をお願いしたい。
- ・講師との日程調整が必須であるが、4月17日（土）を開催予定としたい。

④幸福の黄色いハンカチ基金の申請について

- ・学習会の開催経費として、会で徴収している運営費では不足のため、講師への交通費・託児費用等についての助成申請をしたい。（5万円程度）

次回の運営委員会は、3月12日（金）18時30分から市民研修センターで開催です。

○ゆうばり再生市民会議事務局

☎090-4874-2538 園